



2022年3月28日

各 位

会 社 名 日 本 ア ン テ ナ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀧 澤 功 一  
コ ー ド 番 号 : 6 9 3 0 東 証 J A S D A Q ス タ ン ダ ー ド  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 清 水 重 三  
T E L 0 3 - 3 8 9 3 - 5 2 2 1

### (開示事項の経過) 希望退職者の募集結果及び特別損失の計上 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月3日に公表いたしました希望退職者募集の結果及び2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)における特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の動向を踏まえ、2021年11月4日に公表いたしました2022年3月期通期業績予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 希望退職者の募集の概要

対象者： 下記の条件に該当する正社員  
・2022年4月30日現在で満年齢55歳以上かつ勤続3年以上の管理職  
・2022年4月30日現在で満年齢50歳以上かつ勤続3年以上の一般職

募集人員： 50名程度

募集期間： 2022年2月9日から2022年3月11日まで

退職日： 2022年4月30日

優遇措置： 会社都合退職金に加え、割増退職金を支給する。  
希望者に対しては再就職支援を実施する。

#### 2. 希望退職者の募集の結果

応募者数： 36名

#### 3. 特別損失の計上

希望退職者の募集に関する費用

今回の希望退職者募集により発生する費用として313百万円を連結及び個別決算において特別損失として計上する見込みであります。

#### 4. 2022年3月期通期業績予想の修正

##### (1) 連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	14,300	△500	△500	△500	△48.15
今回発表予想 (B)	12,600	△1,200	△1,200	△1,700	△163.71
増減額 (B-A)	△1,700	△700	△700	△1,200	—
増減率 (%)	△11.89	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	15,297	284	230	△79	△7.38

##### (2) 個別業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	13,500	0	0	0	0.00
今回発表予想 (B)	11,700	△500	△500	△1,100	△105.93
増減額 (B-A)	△1,800	△500	△500	△1,100	—
増減率 (%)	△13.33	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	14,381	489	462	127	11.85

##### (3) 業績予想の修正理由

2022年3月期通期業績につきまして、2021年11月4日に公表いたしました前回予想と比較いたしますと、放送関連機器や通信用アンテナ別に重点タスクフォースを立ち上げるなど業容回復に取り組み、一定の成果を上げたものの、放送関連機器に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の反動減からの回復には至らず、消費者向けの製品につきましては、前回の業績予想公表時の想定を上回る厳しい事業環境が継続しました。また、CATV事業者等向け機器につきましては、市場要求に応えるための製品改良に引き続き時間を要しており、第3四半期以降は減速いたしました。通信用アンテナにつきましては、官需向けデジタル無線用アンテナの売上につきましては今一步需要が振るわず、また通信モジュール用アンテナにつきましても、長引くコロナ禍の中、本格化を見込んでいた対面営業を控える結果となり軟調に推移しました。また、ソリューション事業につきましても、主力のビル内共聴工事は新設・既設ともに、本格的な市況回復には至っておりません。

連結子会社につきましても、連結会計年度末に向けて若干回復の兆しが見られるものの半導体不足の影響による海外顧客の生産活動の停滞が長期化しており、落ち込みを余儀なくされました。この結果、連結及び個別の売上高につきまして、前回予想を修正いたします。

利益面につきましては、引き続きコストダウンに注力したものの、売上の減少による影響が大きく、営業利益、経常利益につきましては、前回の業績予想値を大きく下回りました。また、希望退職の募集に伴い特別損失の計上を行ったことや、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回の業績予想値を大きく下回りました。

##### (4) 配当予想

配当予想につきましては、一株当たり21円の予想を据え置いております。

(5) 今後の対応

当社の今後の対応といたしましては、市場要求に応えるための早期製品改良を実現するとともに、変化する現在に対応した最善な営業活動をすることで新規マーケットの開拓を行うことに加え、より強力な販売・生産体制の効率化・省力化とコストダウンを推進して、収益構造の改善を図ってまいります。

(6) 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上